

普及活動情勢報告（平成27年6月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

環境制御技術を学ぼう！！

～JAとさしキュウリ部会が研修会を開催～



具体的な質問が出た研修会

JAとさしキュウリ部会は5月27日に環境制御技術の研修会を行いました。

産地・流通支援課から環境制御技術の基礎と県内キュウリでの炭酸ガス施用実証状況についての報告があり、また、農業改良普及課環境制御技術普及推進担当から加速化事業を紹介しました。質疑では「当地区のハウスの構造でも炭酸ガス施用効果はあるのか？」「炭酸ガス施用機の電気使用量は？」などの質問があり、導入を検討している様子が見られました。

今回は反省会を利用して実証結果などの情報提供を行い、キュウリでの環境制御技術の普及をしていきます。

いの町でのニラ栽培ほ場の巡回

～追肥や病害虫の発生状況について～



雨の中でのほ場巡回

6月5日、いの町でニラを栽培している10戸（農業研修生も含む）のほ場をJAコスモスと農業改良普及課で巡回し、個別に面談を行いました。

ほ場巡回では、ほ場を見たうえで生産者と面談を行います。去年の作の状態、病害虫の発生状況と比較し現状の生育状態等を話し合い、元肥時にECが高いほ場については、再度、農業改良普及課で土壌分析を行い、追肥の有無を決めました。ほ場では、ネダニの発生が少し見られましたが、生育は概ね順調でした。今後も農協と連携し概ね月1回のペースでほ場巡回を行っていきます。

今年の穂肥のタイミングは？

～岩戸水稻研究会が穂肥検討会を開催～



サンプルを見ながらの穂肥の検討

6月15日、土佐市岩戸公会堂で岩戸水稻研究会の穂肥検討会が開催され、生産者や関係機関ら30人が参加しました。

農業改良普及課からは、これまでの生育概況や病害虫の発生状況、今後の管理について情報提供しました。また、ほ場でサンプリングした主稈の幼穂長を参加者で確認し、昨年よりも生育が早めに推移しているので、葉色が基準値以下の場合は、速やかに穂肥を施すよう申し合わせました。

最後に、県の重点施策である①高品質安定生産、②ブランド化の推進、③大規模稲作経営体の育成と水田活用（飼料用米、酒米の推進）について説明しました。

中央西地区環境制御技術研究会が説明会を開催しました
～環境制御機器導入加速化事業および機器説明会～



環境制御の質疑を交わす生産者

6月4日、土佐市において中央西地区内の農家を対象に環境制御技術導入加速化事業に関わる説明会を開催しました。産地・流通支援課が事業の説明を行い、機器についてはメーカー6社の説明を受けました。メロン、キュウリ、ピーマンを中心とする32名の生産者が事業および機器について学び、熱心に質疑が交わされました。

農業振興センターの環境制御技術普及推進員からは、市町村の補助や参加のなかったメーカーの機器について情報提供を行いました。普及課は今後も順次、勉強会の提案や企画を通して、環境制御技術の導入を進めていきます。